

部 局	(会計課)	補 職	会計管理者	氏 名	山羽 宏和
-----	-------	-----	-------	-----	-------

1. 部局の使命

市の会計事務を統括する組織として、現金、有価証券、物品の出納・保管、現金及び財産の記録管理、決算の調製を担うとともに、各部局の正確かつ迅速な会計事務の遂行を支援することにより、適正で効率的な会計事務の実現を図り、市民の信頼に応えます。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) 公金の安全かつ有利な運用 歳計現金をはじめとする公金の保管運用について、余裕資金を的確に把握したうえで、安全かつ有利に、また、効率的に運用します。</p> <p>(2) 適正で効率的な会計事務の推進 研修や日々の業務相談等の機会を通して、各部局の正確かつ迅速な会計事務の遂行を支援します。また、支援に必要な業務知識等の習得や共有を徹底し、当課職員のレベルアップを図ります。</p> <p>(3) 物品の有効活用 物品の有効活用を図り、自主財源の確保につなげます。</p>	<p>(1) 公金の安全かつ有利な運用 歳計現金については、コロナ禍の影響による不測の事態に備え、支払準備金の十分な確保を図りつつ、余裕資金を的確に把握し効果的に運用を行いました。また、基金については、財政課と連携し、債券による長期運用額を積み増ししました。</p> <p>(2) 適正で効率的な会計事務の推進 eラーニングによる基本研修のほか、昨年度の「源泉徴収」の追補版を作成し専門研修を実施しました。また、庁内LAN「会計課ページ」を適宜更新し、財務会計事務に従事する各課職員のニーズに即した情報提供を行いました。</p> <p>(3) 物品の有効活用 ネットオークションを利用した不用車両の売却などを実施しました。また、昨年度の申込者からの声も反映し、申込手続きと事務の効率化に資する改善を図りました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>各部局の正確かつ迅速な会計事務の遂行支援</p> <p>○内部統制における評価業務を通じて、各部局における会計事務の適正な執行体制の構築を支援します。 * 中間(10月)及び最終(4月)自己評価の評価業務(不備事項の改善等の支援) * 各部局への実査 必要時</p> <p>○各課における備品の適正な管理のため、備品台帳と現物の照合作業のほか、台帳の適正な整備について各課を支援していきます。 * 各課における備品台帳と現物一致の確認作業 4月~9月 * 管理状況往査 随時</p> <p>○庁内情報の「会計課ページ」を各部局の会計担当職員のニーズに沿った有用性の高いものにレベルアップします。 * 「会計課ページ」の更新 随時</p> <p>○各部局職員向けに、引き続き財務会計事務全般を概説する基本研修(eラーニング)を実施します。</p> <p>○当課職員の財務会計事務にかかるノウハウの共有・業務スキルの向上を進めます。 * 適宜事務分担を見直す事務ローテーションやミーティングの実施、各種研修への参加 随時</p> <p>○会計事務の効率化をめざし、業務のデジタル化を進めていきます。 * 債権者登録(会計課受付分)における電子申請フォームを構築します(『電子申込システム』を利用)。 * 備品台帳と現物の照合作業の効率化に向けた現物確認アプリ等の導入に取り組みます。</p>	<p>○内部統制の中間評価において、不備事項を確認し、改善策の設定に係る支援等を行いました。</p> <p>○備品の適正な管理については、各課に備品台帳と現物の照合作業を依頼するとともに、その後、5所属に対し実地調査を行いました。</p> <p>○「会計課」ページについては、有用な情報を随時掲載するとともに、画面の見やすさなどの改善を図りました。</p> <p>○各部局職員向けの研修については、eラーニングによる基本研修と、昨年度の「源泉徴収」の追補版による専門研修を行いました。</p> <p>○課内においては、係内で事務分担の一部入れ替えを行うなど、事務の共有やスキルの向上を図りました。</p> <p>○業務のデジタル化では、債権者登録の変更申込にかかる電子申請フォームの構築、「備品管理アプリ」の導入準備を行いました。</p>	<p>○内部統制は、令和3年度(2021年度)の最終評価を行うとともに、不備内容を分析し、適正なリスク対応策の設定支援や研修を通じ、効果的・効率的な事務体制の整備を支援します。</p> <p>○「備品管理アプリ」を試験導入し、問題点を改善しながら、本格導入(導入課の拡大)を図ります。</p> <p>○各部局職員向けに、「会計課ページ」の充実を図ります。また、総務部と連携を図り、新規採用職員、実務担当者、決裁者の階層別研修を実施します。</p> <p>○当課職員が研修講師を担うことにより、業務知識やスキルの向上を図ります。</p> <p>○財会システムの電子決裁化をはじめとする会計業務の効率化、デジタル化を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
<p>基本政策</p> <p>0</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>効果的かつ効率的な基金運用の推進</p> <p>○基金管理事務の効率化を推進するとともに、引き続き多様な運用手法により運用成績の向上をめざします。なお、令和3年度(2021年度)中に財政課において作成する「(仮称)公金の有価証券の運用に係る基本方針」に基づき、新運用を開始していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基金の一括運用 継続 * 「(仮称)公金の有価証券の運用に係る基本方針」の策定に係る調整 * 新運用方針に基づく債券等による運用 随時 * 事務フローの見直し 随時 * 債券(地方債)の発行情報収集 随時 	<p>○基金の運用のうち、預貯金においては、できる限り利率の良い金融機関に預け入れを行い、一定の利子収入を確保しました。</p> <p>○長期運用においては、本年度は地方債を1億円買い増し、運用総額は計5億円となりました。</p> <p>また、「債券運用戦略」に基づき、毎年度安定的に債券を購入していくため、証券会社から情報収集を行い、効果的な購入手法の検討を行いました。</p>	<p>○定期預貯金による運用については、利率の関係で預け入れ先が1行に集中していることから、リスク管理上分散する必要が生じています。今後は、歳計現金、基金、財産区財産の各公金の性質に応じて運用の種類及び運用先を選択し、安全面と運用のバランスを図っていきます。</p> <p>○基金については「債券運用戦略」に基づき、今後10年間、毎年3億円の定額購入を実施していきます。債券の種類については、財政課とも協議の上、安全性、流動性、バランス等に配慮しながら購入を進めていきます。</p>
	総合計画		
	5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>物品の有効活用</p> <p>○不用物品の種類等に応じ、効果的・効率的な売却方法を選択し歳入確保につとめます。</p> <p>* 不用物品売却 随時</p> <p>* 次年度の売却予定物品の把握 1月～3月</p>	<p>○走行が可能で車両として売却が見込めるものは官公庁向けネットオークションに出品し、2台売却しました。オークションで入札不調となった車両及びその他の不用車両は鉄廃材としての売却を行いました。</p>	<p>○不用となる車両数は年度により増減がありますが、引き続き、一定の売却益が見込める車両については、ネットオークションによる売却を実施していきます。</p>
	総合計画		
	5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>○新型コロナ禍の影響により市税収入の減少を見込む一方で、市債発行の増加が予定されている。このため、令和3年度(2021年度)は、年間を通じ通常とは異なる資金残高の推移となる可能性もあるため、毎月の収支見通しや実際の現金の動きに注意し、日々の支払執行に支障を来さないよう十分な歳計現金の確保を図ります。</p> <p>*各課への収支見通しの照会及び集計 毎月</p> <p>*基金一時繰入、一時借入等による調整 随時</p>	<p>○補正予算の状況や各種新型コロナウイルス感染症対策事業にかかる歳入・歳出の時期及び金額、市税の歳入動向等を把握するとともに、歳計現金や基金の運用期間及び運用額の調整を図り、十分な支払準備金を確保しました。</p>	<p>○令和2年度(2020年度)の特別定額給付金以降、日々の歳入・歳出の増減が激しくなっており、また、令和3年度(2021年度)の給付金事業では、「子育て世帯」と「住民非課税世帯等」への2つの臨時特別給付金の給付(歳出)が短期間に集中するとともに、国費(歳入)が後から入る支出先行型となりました。令和4年度(2022年度)も、引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行の動向、同対策事業の動向等に注意を払いながら、支払準備金を確保します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>公金の安全かつ有利な運用</p> <p>○財政課と連携し、その時々金融情勢等に適応した多様な運用方法の可能性を検討します。</p>	継続して実施
総合計画		
5-2-①	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。	
基本政策		
0		
2	<p>適正で効率的な会計事務の推進</p> <p>○研修等に対する各部局の意見等をフィードバックしながら、内容を工夫するなど、より効果的・効率的な庁内研修や情報発信等をめざします。</p> <p>○会計事務のより一層の効率化をめざし、業務フローの見直しや財務会計システムの機能アップにかかる研究を進めていきます。</p> <p>○オンライン申請やキャッシュレス決済等デジタル化に対応した指定金融機関委託業務の再構築に取り組みます。</p>	継続して実施
総合計画		
5-2-①	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。	
基本政策		
0		